



にげる2月 去る3月

副校長 高城 剛

1月の避難訓練

北陸地方の大地震から1か月が経とうとしています。お正月で家族が帰省して、一家団欒の時間が一瞬に奪われてしまったこと、土砂崩れや津波で多くの家屋が倒壊してしまったこと、海の底が隆起して港が使えない状況になってしまったことなど、今までにない光景に私も大きなショックを受けました。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。本校でも、1月に、地震が発生して給食室から火災が発生したという想定での避難訓練を実施しました。子どもたちも、いつも以上の真剣な表情で校庭まで避難してきました。通常、校庭に避難したところで避難訓練は終了ですが、今回は校長先生から「本当の地震だったら火災が起こっているの、ここに消防車も入ってきます。寒くても校庭でお迎えを待つこともあります。二次避難場所へ移動をすることもあります。」と災害時の大変さや深刻さについて想像を膨らます声掛けがありました。災害に対する心構えや準備が大切であることを改めて考える訓練となりました。みなさんもこれを機に、家庭で災害時の対応について話し合ってみてはいかがでしょうか。

青小ぐんぐんランニング

現在、全校で「青小ぐんぐんランニング」という体づくりの運動に取り組んで走っています。この寒さの中ですが、低学年はコーンを置いてジグザグに走ったり、ハードルを越えたり子どもたちが楽しんで取り組めるよう工夫した場で走っています。中学年・高学年は決まった時間内でなるべく長く走れるよう自分のペースを考えながら走り、記録を伸ばしています。寒さに負けない健康づくりにつなげていきたいと思えます。

卒業までカウントダウン

今年も6年生の教室に卒業までのカウントダウンが掲示されるようになりました。子どもたちの手作りで「いよいよ卒業だな。」と感じています。卒業式は学校行事の中でも、6年間の総まとめという意味もあり特別なものです。6年生には残された小学校生活を少しでも充実したものにしてもらいたいです。「友達と仲良く遊ぶ。」「小学校での勉強をしっかり終える。」「中学校に向けての準備をする。」「思い出に残る卒業式を作り上げる。」など様々な思いがあることでしょう。ぜひ、卒業までの貴重な時間を悔いなく過ごしてほしいです。また、卒業式は6年生だけのものではなく、学校全体のものでもあります。お世話になった6年生を心からお祝いして送り出すために、各学年で実行委員会が発足して取り組みも始まっています。家で「卒業生を送る会実行委員になったよ。」と話しているお子さんもいるかもしれません。きっと心温まる会になると思えます。今から楽しみです。

昨年12月に破損した消火栓用の水道管は、修繕が終わり、通常使用ができる状態となっております。ご心配くださり、あたたかい声をかけてくださった皆様、ありがとうございました。

